

第 2 回 佐久市立中込小学校施設長寿命化改修地域協議会概要

日時	令和6(2024)年11月21日(木)午後 4 時 00～5 時 30 分
場所	中込小学校 視聴覚室
出席委員 (敬称略)	中澤委員、土屋委員、木内委員、金井委員、廣末委員、柳沢(隆)委員、石山委員 白鳥委員、清水委員、井出委員
事務局	吉岡教育長、佐々木学校教育部長、土屋教育施設課長、高橋教育施設建築係長、 大井専門員、寺澤主任、小山技師

会議事項

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 会議事項
 - (1) 前回会議の確認について(資料 1)
 - (2) 中込小学校職員アンケート結果(資料 2)
 - (3) 事例集紹介(資料 3)
 - (4) 意見交換等
 - (5) その他
- 5 閉会

委員からの主な意見・課題(要旨)(「⇒」:事務局からの回答)

○校舎・屋内運動場について

- ・建物の、断熱性・気密性の向上を検討していきたい。
- ・各棟をつなぐ、渡り廊下の設置。
 - ・エレベーターのみだと乗車人数制限があるため、渡り廊下の設置が望ましい。
 - ⇒バリアフリーの観点から、渡り廊下やエレベーター等の設置を含め検討していきます。
- ・太陽光パネルの設置について
 - ・設置費用はかかるが、電気代を賄える可能性がある。
 - ⇒現在、南棟の屋根に約 50 キロワットの太陽光パネルが設置されており、昇降口付近のモニターで発電量が確認できます。発電した電気は校内で使用されています。
- ・扇風機の設置要望について
 - ・扇風機は冷房の代わりにできないのですか。
 - ⇒改築等で整備する教室には、冷暖房の設置のほか、空気を循環させるための扇風機も設置されています。必要性を含め検討していきます。
- ・体育館への冷房設備を要望します。
 - ⇒夏の暑さによる体育活動への影響を考慮し、まずは建物の断熱工事が必要ではないかと考えます。
 - 冷房設備は、現時点で必要ないと考えていますが、他市の動向に注視し、必要性を含め検討していきます。
- ・現校舎の美観改善について
 - ・暖房等の配管が露出しているため、美観が損なわれています。
 - ⇒景観も大切ですが、メンテナンスにも配慮しながら検討していきます。

○学習環境

・新たな学びへの対応

・現在、140年間続いてきた教育の大変革の時期です。学力の捉え方が変わり、大事なものは、知識の量だけでなく学習意欲やコミュニケーション能力等、自分が何をしたいかという、志を培っていく教育です。多様な学びに対応できる施設が必要であり、子ども達が活動しやすい教室の整備や配置も考えていく必要があります。

・学級の枠、学年の枠を外し、学校の枠から地域の枠に広げていくような、様々な枠を外していくことが、これからの教育で大事なことであり、これに対応できる学校づくりが必要となってきます。

・図書館は、子ども達が本を手に取りやすいレイアウトにすることも良いのではと思います。

・プールの必要性について

・中学、高校と水泳の授業が減ってしまうため、小学校にはプールがあった方が良いと思います。外部のプールを利用すると、授業の回数が確保できなかったり、移動に時間を要することが心配です。

・子どもたちはプールでの水遊びを楽しみにしていると思うし、プールが無くなってしまうと、特に低学年の子どもたちがかわいそうだと思います。

・先生達の中では、学校プールは無くしてもいいのではと思っています。今は暑すぎてプールを中止することもあります。現在の体制では、施設管理や子ども達の安全管理の面で心配となることがあるので、民間委託することも一つの案としてあると思います。

・何でも合理的に無くしてしまうと地域がひんやりしてしまうことが心配です。例えば温水プールを設置し、地域のプールとして利用することも考えられますが、改修には多くの費用がかかるので、縮小傾向でよいのではと思います。

・小学校のプールを2~3校で集約するのも一つの方法としてあると思います。

○学校敷地内

・校庭の段差について

・校庭の段差を利用して観覧席にする方法もあると思います。

・校庭の段差は1m20cmですが、例えば50~60cm嵩上げをすれば、子ども達の安全が図られ、車の出入りもし易くなると思います。

・校庭と校舎の段差にフェンスを設置する案がありましたが、子どもが登ると危険なため、校庭の嵩上げを行う方が良いのではと思います。

・校舎改修が優先だと思うので、段差解消は後回しでも良いのではと思います。避難所として考えると嵩上げすることも必要なのだと思います。

・校庭の排水改善

・校庭の水はけが悪いため水はけを改善してほしい。

・記念樹の保存

・校門付近の桜は記念樹であるため残してほしい。

・校歌に登場するポプラも残してほしい。

○地域・学校敷地周辺

・学校敷地の削減と周辺道路の拡幅について

・学校敷地を削り、周辺道路を拡幅することで大型バスの通行を可能にし、車の相互通行ができる様にしてほしい。

⇒現状で大型バスが入れるため、長寿命化改修において道路を拡幅することは考えていません。

・公民館の設置について

・三石区は中込小学校を囲むように配置されています。地域との交流の一環として、老朽化した公民館を学校内に設けるスペースを確保してほしい。

・地域とのコミュニケーションの重要性

・子供たちを地域と一緒に育てることは非常に重要です。そのため、コミュニティスクールの皆さんが集まれる場所を設置しても良いことなのかと思います。

・地域コミュニティを作ることが必要であると考えます。子供たちと地域の皆さんが交流できるようなコンセプトで物事を考えていくことが重要です。

○中込小学校の長寿命化を進めるにあたり

・事業の内容について

・リクエストを多く出すほど予算増額の可能性があるのでしょうか。

⇒現時点で長寿命化改修の予算は決まっておりません。

・予算がかかる部分から優先順位をつけて決定する方が効率的です。大きな予算がかかる躯体工事は先に進め、教室内部や設備機器などの細かい部分は後回しにした方が良いのではないかと思います。

・施設の長寿命化と多用途利用

・長寿命化工事後は40年間使用する予定ですが、将来的に児童数が減少した場合、小学校以外の用途にも使用できるように改修することが無駄なく効率的です。このような場合、改修の優先順位が変わってくるのではないかと考えます。

⇒まずは、子どもたちを優先に考える整備を行いたいと思います。

・さまざまな用途に対応できる施設にすることが重要だと考えます。

⇒まずは、子どもたちを優先に考える整備を行いたいと思います。

会議の流れ

第1回
(9月5日)
現状の把握



第2回
(11月21日)
課題の整理



第3回
(1月予定)
優先順位を検討する



第4回
報告書のまとめ